

2023年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

小論文 【夜間主コース 学校推薦型選抜・社会人入試】 【昼間コース 帰国子女入試】		
出題意図		評価ポイント
<p>【出題意図】</p> <p>・人口減少により、とりわけ地方都市の衰退が指摘されて久しい。各地方都市は子育て支援などを掲げて人を集めようとはするものの、そもそも人口自体が減っている以上、それも限界がある。そうした状況にあつていかに都市を運営していくか。この問題は地方自治体が解決に取り組まなければならないことはもちろん、そこに住まう我々自身も挑まなければならない。本問題を通じ、人口減少に立ち向かう都市政策はいかにあるべきか、将来の都市の担い手として考えてもらいたい。</p>	問1	<p>・人口減少によって生じる事態を一つ挙げているか。</p> <p>(例)人口減少によって土地、住宅の必要性が低下し、それらの価格が下落する</p> <p>・また、その事態をどのようにチャンスと捉えているか、その理由は何かを明記してあること。</p> <p>(例)価格が下落したことによって、中間層でも良質な住宅を入手出来る機会が増える</p>
	問2	<p>・地方都市の生活の質を向上させるまちづくりとして、具体的な方策を示していること</p> <p>(例)都市の規模を縮小して、街全体をコンパクトにし、住宅整備などに投資していくこと、域外への所得の流出を防ぐこと、など。</p> <p>・提示した方策の有効性を詳細に説明してあること</p> <p>(例) (都市の規模を縮小する、という場合) 住宅地などが郊外にも広がっている現在の都市の規模をそのまま維持しようとする、その郊外に対するインフラの維持費用がかかり、空き家の整備など、生活環境の向上に向けて必要な投資ができなくなる。</p> <p>・提示した方法について生じる困難とその解決策が示されていること</p> <p>(例) (都市の規模を縮小する、という場合) 都市の中心部に人を集めるとしても、人は自由に居住することができる以上、強制的に移動させることはできない。そこで、郊外にいる人が自発的に移動するインセンティブを付与する必要がある。例えば、中心地区の交通網の整備や魅力ある都市空間を形成すること、転居による家賃助成などの費用を投じていくこと、が考えられる。</p>